

福祉ネット大和川球技大会

5月24日(木)、矢田総合グラウンドにて球技大会を行いました。今回はパターゴルフや風船バレーといった新しい競技に取り組みました。天候にも恵まれ、今までとは違う雰囲気の中で球技大会を行いました。パターゴルフは個人戦で競い合い、メダル授与式では利用者さんの笑顔があふれました。また、風船バレーは風のいたずらもあり、風船が大きくコートから外れることもありましたが、参加者・応援者共に楽しむことができました。(体力づくり委員会 丸山 由紀子)

パターゴルフ 個人戦



全事業所参加 風船バレー



初めての風船バレー！
競技説明もなかまが
行いました！

(編集後記)
暑中お見舞い申し上げます。今年の夏は猛暑となるといって予報通り、暑い日が続いております。体調には十分にご留意下さい。
6月中旬には大阪北部地震、7月初旬には西日本豪雨災害がありました。予測のつかない災害から身を守る為には、普段から防災意識を高め、災害時の備えが必要だと感じました。また、障がい者の方、高齢者の方の防災や避難においてはどのような配慮が必要なのかを改めて考えていくことも大切だと感じました。

(K)

ケアホーム建設資金
ご寄付ありがとうございました
(敬称略)

今後ともご協力賜りますよう

よろしくお願い致します

張本 澄子 福田 ゆみ
井本 弘子 森川 道子

7月20日現在
8.013.198円

福祉ネット大和川だより

発行責任者/社会福祉法人 福祉ネット大和川 理事長 久田幾代
〒546-0022 大阪市東住吉区住道矢田7-9-13 Tel 06(6769)7545 Fax 06(6769)7546
http://www.yamatogawa.or.jp/ E-mail yamatogawa@blue.ocn.ne.jp



福祉ネット大和川で勤務をして

早いもので私が当法人に勤務させていただき14年が経ちました。この仕事に就く前は全く畑違いの仕事をしており、福祉の右も左も分からないところからのスタートでした。私の場合それが幸いしてか、福祉や知的障がいを持った方々に対し先入観や『福祉とはこうあるべき』という理想などがなく真っ白な状態で支援に携わってこれたことが良かったと思っています。

14年の中でそれはもういろんな出来事がありました。降所途中で屋根に靴を飛ばし取りに行き屋根から落ち救急車で運ばれた方、バスを乗り間違え行方不明になる方、自転車で土手から転げ落ちこれまた救急車で運ばれた方… その他ここには挙げきれないほどの思いもよらない事件！？が多々ありましたが、それを一つ一つ乗り越えて利用者さんも私自身も少しずつではありますが成長できたのではないかと思います。

私は現在リサイクルたんぽぽ事業所で支援をさせていただいておりますが、利用者さんは男性13名、日々いざこざもあればなかなか支援がうまくいかないこともしばしば。支援において正解は一つではなくその方に合った導き方で少しでも充実した毎日を過ごしていただくのが今の目標です。自分(支援者)が笑っていると利用者さんも自然と笑顔になり、不機嫌でいると利用者さんも下を向いてしまいます。仲間に助けられ笑かしてもらいながら毎日楽しく過ごさせていただいております。これからも一人一人のニーズに寄り添いながら支援を続けていければと考えています。(リサイクルたんぽぽ 大丸 由美子)

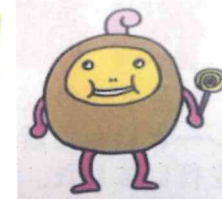


改めて自己紹介をさせていただきます。東住吉たんぽぽで生活支援員をさせていただいております北村友弘と申します。よろしくお願い致します。私がこちらでお世話になった当時(16年前)は6つの無認可作業所が集まって、NPO法人福祉ネット大和川として運営されておりました。私は東住吉たんぽぽ作業所に配属されました。当時の東住吉たんぽぽ作業所は針中野駅近くの鷹合地域に所在し、とても印象に残っていることは地域に根ざした作業所であったことです。当時の東住吉たんぽぽ作業所の利用者数は17名で、決して広い作業所ではありませんでした。でも、活動内容は多彩で地域でのバザー物品販売、公園及び地域の清掃活動、室内では内職作業と自主製品の製作に取り組んでいました。狭いスペースの中にも利用者さんと職員、ボランティアで来られる地域の方の距離が近く、触れ合えるところが利点だと感じていました。また、地域での活動において、地域の方が気軽に声をかけて下さり、バザーを開催する時は快く場所や物品の提供して下さいました。地域の方は利用者さんの名前を覚えておられ、一緒に昼食を楽しむこともありました。利用者さんも自発的に元気に挨拶や会話をされ、地域の方との関わりを楽しまれていました。利用者さんの支援は職員だけでなく、地域の方の支援とふれあいがあって、成り立っているものだと感じることができました。

福祉制度が変化する中で、福祉ネット大和川はNPO法人から社会福祉法人へと移行しました。東住吉たんぽぽも生活介護事業所に移行しました。諸事情により、東住吉たんぽぽはたんぽぽ事業所と合併し、田辺地域に新しい東住吉たんぽぽとして生まれ変わりました。田辺地域においても地域の皆様から支えられ、地域掃除ではお声をかけていただき、利用者さんも嬉しそうに活動されています。また、月1回のふれあい喫茶では利用者さんも地域の方との交流を楽しみにされています。これからも地域にある社会資源を活用しながら、利用者さんが笑顔で日中活動を送ることができるように精進し、個人に合わせた支援を行いたいと思います。(東住吉たんぽぽ 北村 友弘)



福祉ネット大和川「第4回 たんぽぽまつり」開催!!



三太郎物語・浦島太郎を全体事業所で演技!

第1幕 リサイクルたんぽぽ



リサイクルたんぽぽの仲間が演じる三太郎が登場!!
今回の演目について話します。



乙姫さま(?)が登場!!
演目は浦島太郎に決まりました。

第2幕 たんぽぽわたぼうし



浦島太郎が子供たちにいじめられている亀を助けます。



太郎は竜宮城へ招待されます

第4幕 矢田たんぽぽ



村へ帰ってきた浦島太郎。
玉手箱を開けてしまい、
年老いた姿になりました!



第3幕 東住吉たんぽぽ



竜宮城で手厚い歓迎を受ける浦島太郎。宴会の場面ではみんなで「女々しくて」「恋するフォーチュンクッキー」を歌いました!



6月23日(土)平野区画整理会館にて第4回たんぽぽまつりを開催いたしました。

今回はコンセプトを変更し、新たな気持ちで全職員取り組んで参りました。そうした中、全単位共通のお芝居「浦島太郎」を題材にし、各事業所の色を出しながら演じることにしました。仲間も年々たくましく成長する姿が見られ楽しめたことだと思います。保護者の方々にもご協力して頂き本当に感謝しております。ありがとうございました。

皆さんが楽しめる場として、次回のたんぽぽまつりも、盛り上がる事が出来ればよいと考えております。

(たんぽぽまつり実行委員会 星野 弓子)

スタッフによる寸劇・三太郎物語



寸劇の後、「海の声」を熱唱しました!



湯里バンド



たんぽぽまつりの締めは湯里バンドの演奏です。会場全体で盛り上がりました!